

様式 2

番号 観点	発行者の番号、略称	使用学年	教科書の記号、番号	教科書名
	9・開隆堂	第 1,2 学年 第 3,4 学年 第 5,6 学年	図工 131, 図工 132 図工 331, 図工 332 図工 531, 図工 532	ずがこうさく 1,2 上 わくわくするね、ずがこうさく 1,2 下 みんなおいでよ 図画工作 3, 4 上 できたらいいな、図画工作 3, 4 下 思いをこめて 図画工作 5, 6 上 心をつないで、図画工作 5, 6 下 ゆめを広げて
取扱内容 〔 学習指導要領の総則及び 各教科、各学年の目標、内容等 〕	<p>材料を基に造形遊びをする活動</p> <p>第 1,2 学年では、木の葉をちぎり、石を並べるなど、自然物を操作したり、紙パックなどをちぎってつなげたりする活動、第 3,4 学年では、身近な場所に新聞紙などをつないだり、自分たちの好きな場所をビニルシートやテープなどを使って囲んだりする活動、第 5,6 学年では、身近な自然環境で枝や葉を用いて景色を変えたり、光や影の特徴を生かし、色などの美しさを味わったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>表したいことを絵や立体、工作に表す活動</p> <p>第 1,2 学年では、空き箱を用いて、家や町をつくったり、インクをつけたローラーを転がしてできた形を基に絵を描いたりする活動、第 3,4 学年では、箱の中に思い付いた物語の世界を表したり、色づくりや筆使いなどを工夫して、気に入った木を描いたりする活動、第 5,6 学年では、曲線切りした板を組み合わせてパズルをつくったり、墨の濃さを変えながら思いのままに描いたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>作品などを鑑賞する活動</p> <p>第 1,2 学年では、型押しやこすり出しなどでつくった互いの作品を見たり、カッターナイフで紙の切り方を工夫してつくったタワーの色や形のよさを見つめたりする活動、第 3,4 学年では、身近にある材料のさわり心地の違いを見つけ、友達と交流したり、造形カードを作成して、互いのイメージや感じ方の違いを味わったりする活動、第 5,6 学年では、擬態の動物をつくって身近な場所に飾り、その場所の特徴を話し合ったり、美術作品を見て、グループで見つけたことや想像したことを発表したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>共通事項</p> <p>全学年を通して 90 箇所の活動が扱われており、例えば、第 1,2 学年では、いろいろな色と形のものを集め、並べ方を工夫して飾りをつくる活動、第 3,4 学年では、絵の具を混ぜて同じ仲間の色を分類してイメージを広げる活動、第 5,6 学年では、接写した写真の色や形からイメージを膨らませる活動などが取り上げられている。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応</p> <p>第 1,2 学年では、はさみやのりを使って紙を切る、貼るなどして教室を飾る物をつくったり、クレヨンやパスで着色した部分をこすり、ぼかしの効果を生かした絵を描いたりすること、第 3,4 学年では、水彩絵の具のパレットや水加減について学習し、いろいろな線を描いたり、のこぎりを使って角材を切り、釘を打って木片を組み合わせたこと、第 5,6 学年では、液体粘土と布でできた凹凸のある画面に楽しい絵を描いたり、これまでに経験したいろいろな方法を使ってスチレンボードへの版の表し方を工夫したりすることなど、技能を活用する活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・ 排列、 分量等	<p>内容の構成・排列</p> <p>第 1,2 学年では、型押しとこすり出し、土や砂と色水の造形遊びなどを取り扱い、第 3,4 学年では、光と影の飾りや牛乳パックなどの工作、板と紙の入れ物などを取り扱い、第 5,6 学年では、アルミ針金や紙バンドなどの線材、組み木パズルと動くおもちゃなどを取り扱い、材料や方法については、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>内容の分量</p> <p>第 1,2 学年では、「材料を基に造形遊びをする活動」が 10 ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が 63 ページ、「作品などを鑑賞する活動」が 24 ページであり、総ページは 90 ページである。</p> <p>第 3,4 学年では、「材料を基に造形遊びをする活動」が 7 ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が 63 ページ、「作品などを鑑賞する活動」が 16 ページであり、総ページは 90 ページである。</p> <p>第 5,6 学年では、「材料を基に造形遊びをする活動」が 5 ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が 67 ページ、「作品などを鑑賞する活動」が 19 ページであり、総ページは 94 ページである。</p>			
使用上の 配慮等	<p>各巻の巻頭に「小さな美術館」と「ゆめをかたちに」を設け、児童の興味・関心に合わせた作品を掲載したり(全学年)、作家の作品とメッセージを掲載したり(全学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>安全、後片付け、必要な知識・技能や材料など周知させたい基礎的・基本的な内容を示したり(全学年)、授業の振り返りを囲みで示したり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>目次に、道具や用具を示していたり(全学年)、巻末に、造形活動に必要な知識や技法、道具の使い方などを示した「道具箱・パレットコーナー」(全学年)や、題材ごとに培いたい力を示すマーク(全学年)を掲載したり、紙面全体の配色や写真の配置を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	北海道と関連のある素材は、「十勝平野の夕陽」など、2 箇所取り上げられている。			

様式 2

番号 観点	発行者の番号、略称	使用学年	教科書の記号、番号	教科書名
	116・日文	第 1,2 学年 第 3,4 学年 第 5,6 学年	図工 133, 図工 134 図工 333, 図工 334 図工 533, 図工 534	ずがこうさく1,2上 たのしいな おもしろいな、ずがこうさく1,2下 たのしいな おもしろいな 図画工作3,4上 見つけたよ ためたよ、図画工作3,4下 見つけたよ ためたよ 図画工作5,6上 見つめて 広げて、図画工作5,6下 見つめて 広げて
取扱内容 〔 学習指導要領の総則及び 各教科 各学年の目標、内容等 〕	<p>材料を基に造形遊びをする活動</p> <p>第 1,2 学年では、砂を型に取って並べ、土の塊を積んだり、紙を切って長くつなぎ、上からつるしたりする活動、第 3,4 学年では、身近な場所で雪やプラスチック容器などの自然や人工の材料を用いて構成したり、自分の好きな場所を多様な材料で変身させたりする活動、第 5,6 学年では、身近な場所の特徴を生かして空間を変身させたり、風や水の動きとその効果を考えて美しい空間を構成したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>表したいことを絵や立体、工作に表す活動</p> <p>第 1,2 学年では、生活の中で思い出に残っていることを絵に描いたり、お話や仕組みを考えてすごろくなどの楽しく遊べるものをつくったりする活動、第 3,4 学年では、金づちを使って釘を打ち、楽しいものをつくったり、心に残った出来事をそのときの気持ちが伝わるように描いたりする活動、第 5,6 学年では、心に残っている場所や出来事を描いたり、板材の特徴を生かして生活の中で使えるものをつくったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>作品などを鑑賞する活動</p> <p>第 1,2 学年では、身近なものの感触を確かめ、いろいろなものの凹凸を粘土で写し取ったり、お気に入りのきれいなものなどを並べて飾ったりする活動、第 3,4 学年では、お気に入りの場所に自分の写真を飾って見ることで、その場所のよさを見つけたり、美術作品の人物の動作を真似て感じたことを友達と交流したりする活動、第 5,6 学年では、美術作品やいろいろな模様をカードにして友達と話し合ったり、日本の伝統的な美術に触れて、生活を豊かにする工夫を味わったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>共通事項</p> <p>全学年を通して 110 箇所の活動が扱われており、例えば、第 1,2 学年では、カラーフィルムなどを透過させ楽しい形や色の光を地面などに映す活動、第 3,4 学年では、光にいろいろなものを当てて影を映し、楽しい影の形に表す活動、第 5,6 学年では、液体粘土で布を瞬間的に固めた形から想像を広げて表す活動などが取り上げられている。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応</p> <p>第 1,2 学年では、紙の切り方を工夫した楽しい飾りをつくって教室を飾ったり、切った紙の形を基に紙の置き方を考えて台紙に貼り、絵に表したりすること、第 3,4 学年では、折る、まるめるなどして立たせた紙の形を生かしてその紙に絵を描いたり、木切れや板をのこぎりで切っているいろいろなものをつくったりすること、第 5,6 学年では、割りピンで動く絵を少しずつ動かしてデジタルカメラで撮影し、アニメーションをつくったり、絵を描いて開いた傘の形や色を生かし、空間を飾ったりすることなど、技能を活用する活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>内容の構成・排列</p> <p>第 1,2 学年では、土と粘土、紙版画と型紙で写すなどを取り扱い、第 3,4 学年では、ボール紙と段ボール、透明シートと新聞紙などを取り扱い、第 5,6 学年では、ビー玉の迷路とパズル、紙バンドと毛糸、布テープなどを取り扱い、材料や方法については、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>内容の分量</p> <p>第 1,2 学年では、「材料を基に造形遊びをする活動」が 16 ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が 72 ページ、「作品などを鑑賞する活動」が 24 ページであり、総ページは 114 ページである。</p> <p>第 3,4 学年では、「材料を基に造形遊びをする活動」が 16 ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が 72 ページ、「作品などを鑑賞する活動」が 28 ページであり、総ページは 114 ページである。</p> <p>第 5,6 学年では、「材料を基に造形遊びをする活動」が 8 ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が 68 ページ、「作品などを鑑賞する活動」が 36 ページであり、総ページは 114 ページである。</p>			
使用上の配慮等	<p>生活の中にある形や色のよさや美しさを味わう「ぞうけいのもり」を掲載したり(全学年)、児童が自由にイメージを広げる「図画工作の広がり」を掲載したり(3,4 年、5,6 年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>各題材の冒頭に「学習のめあて」を示していたり(全学年)、児童が発達や鑑賞する際の視点を吹き出しなどで表したり(全学年)、表現の工夫や、振り返りを示す囲みを掲載したり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>巻末に、授業で扱う材料や用具について説明する「使ってみよう材料と用具」(全学年)や、各題材のページ横に使用する主な用具を示すマーク(全学年)を掲載したり、紙面のデザインや文字の色を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	北海道と関連のある素材は、「『意心帰』とうや湖ぐるっと彫刻公園」が、1 箇所取り上げられている。			

